

くじびきドロイングが、  
“本”になりました。

くじびきドロイングは

2008年にアーティストの乾久子さんによって  
発案されたワークショップです。

くじを引いて出たお題を絵にし、

次にくじの言葉を残して誰かと繋がって、

社会とアートが柔らかくリンクします。

大人も子どもも男も女も、

社会にいる様々な人たちが参加して、

くじドロ特有の言葉の世界を紡いできました。

ワークショップは、全国60箇所以上で実施され、

残された作品は8000枚を越えました。

本展では、

くじびきドロイングの

これまでの作品すべてをブック型の箱に収めたアーカイブを、  
どなたでもお手にとりご覧いただけるように展示します。



# くじびきドロイング アーカイブ展

2022.3/5(土)~16(水) 9:00~21:30 ※7日、8日休館  
浜松市鴨江アートセンター1Fロビー

## 乾 久子

美術家 1958年 静岡県生まれ 東京学芸大学大学院修士課程修了  
イメージからイメージへと広げていくドロイングを制作の基本と  
する。国内外での個展グループ展多数。2008年にくじびきドロ  
イングワークショップを発案。

### 【公式ホームページ】

乾久子の仕事 <http://hisakoinui.com>

くじびきドロイングのすべて <http://kujidoro.net>

⚠️ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催内容の変更、延期等の  
可能性があります。・来場時の手のアルコール消毒、検温、マスクご  
持参の上の着用にご協力お願いいたします。・来場時の写真が鴨江  
アートセンターのウェブサイトなどに掲載されることがあります。

## くじドロアーカイブとは？

くじびきドロイングのこれまでの作品すべて  
をブック型の箱に収めたものです。箱は本の  
形の引き出し式になっており、開けると、これ  
までのくじドロで生まれた作品の**実物**が入っ  
ています。『本』は、ワークショップごとに作ら  
れており、通し番号が振られ、ワークショップ  
名、開催地、実施日がわかるので、ご自分が参  
加したワークショップの『箱』を開ければ、作  
品に再会することができます。現在**150冊**の  
アーカイブブックができています。



ゆるいくじドロ  
同時開催

会場にスタッフがいるときは、  
くじびきドロイングを  
やってみることができます。

主催・お問合せ

浜松市鴨江アートセンター(指定管理者:浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ)

浜松市中区鴨江町1番地 窓口/9:00~21:30 TEL/053-458-5360 ✉️k.a.c@kamoeartcenter.org

【助成(乾久子とチームくじドロ)】公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金

関連  
イベント

乾久子『ことばのまわり~10年目を歩く~』ギャラリーオフグリッド/福島/2021 報告トーク -Hi again-

3/11(金) 19:00~20:30 鴨江アートセンターにて ※予約優先。当日はお席があればご参加いただけます。

お申し込みはメール・電話・窓口にて